

特別決議

原発再稼働、社会保障大改悪、消費税増税、 TPP参加など、あらゆる悪政と対決し 「いのちが最優先」の社会をつくろう

今、この国の隅々から大きな「うねり」が起きている。

原発ゼロを求め、大飯原発再稼働に対する怒りの波は全国に広がっている。

繰り返し首相官邸を取り囲む多くの国民、17万人の代々木公園集会、これに呼応して各地で怒りの集会やデモが行われている。

社会保障を改悪しながら、消費税の増税のみを押しつける政治に対し、半数以上の国民が反対している。また、農林漁業や国民皆保険制度を解体するTPPへの参加に反対する共同は、これまでの枠を超えた広がりとなっている。

危険なオスプレイの強行配備や普天間基地県内移設に反対するうねりは、山口・沖縄から全国へと広がっている。

さらに、東日本大震災からから1年4ヶ月が経過しても、未だに復旧・復興の目処も立たない状況への怒りも激しい。

「新自由主義」「構造改革」路線からの決別を期待して、民主党政権を誕生させた国民は、これまで以上の痛みを強いる野田政権と自公などの横暴に失望し怒りを強めている。

「こうした悪政にもう我慢できない」と、あらゆる世代や職業、階層を問わず、一人ひとりの国民がこの国の主人公として立ち上がっている。この怒りと行動を、国民にあらゆる苦難を押しつける民主、自民、公明中心の政治から、国民生活本位の政治への転換に結びつけよう。

国民のたたかいの輪の中には、常に私たち医療・介護・福祉労働者の姿がある。私たちの確固たる方針と実践が、世論をつくり、情勢の変化をつくり出している。

これを確信に広く国民との共同を広げて、平和と民主主義を守りいのちと暮らし切り捨ての悪政の転換をはかろう！

私たち医療・介護・福祉労働者は、その運動の先頭に立って奮闘するものである。

以上、決議する。

2012年7月27日

日本医療労働組合連合会 第62回定期大会